

(1)

西条市長選で初当選し、花束を手に喜ぶ高橋敏明氏
=10日午後11時ごろ、同市朔日市



西条市長に高橋氏

現職ら 2氏破る

任期満了に伴う西条市長選は10日投票開票され、新人で元愛媛大社会共創学部教授の高橋敏明氏(66)が無所属、同市神拝IIが1万8496票を獲得し、3選を目指した現職玉井敏久氏(61)と同、同市丹原町高松IIを1387票差で破り初当選した。

玉井氏は1万7109票、新人で元県議の黒川理恵子氏(62)と同、同市大町IIは8955票。投票率は51・80%で、2016年を279票。

任期満了に伴う西条市長選は10日投票開票され、新人で元愛媛大社会共創学部教授の高橋敏明氏(66)が無所属、同市神拝IIが1万8496票を獲得し、3選を目指した現職玉井敏久氏(61)と同、同市丹原町高松IIを1387票差で破り初当選した。

新居浜市長選に初当選し、支援者と握手する古川拓哉氏
=10日午後11時25分ごろ、同市高木町



新居浜市長古川氏

新人対決 5945票差

任期満了に伴う新居浜市長選は10日投票開票され、新人の前県議古川拓哉氏(46)が無所属、同市寿町IIが2万4275票を獲得、新人で元副市長の加藤龍彦氏(70)が無所属、同市大生院IIを5945票差で破り初当選した。投票率は45・48%で前回2020年の39・65%を5・83ポイント上回った。

古川氏は、四国一の子育て支援の充実や時代に合ったまちづくりを訴え、従来の支持層の拡大に注力。子育て世代や若年層に支持を得て、強固な組織戦を展開する加藤氏を上回った。

任期満了に伴う四国中央市議選が10日告示された。定数22に対し、現職16人、元職1人、新人15人の計32人が立候補を届け出て選挙戦が始まった。2004年4月の新市発足後、1選挙区制となった08年以降で最多の候補者数。投票は17日で即日開票される。

四国中央 32人立つ

市議選告示

えた県議のほか、政財界や労働組合なども支援したが及ばなかった。

当日有権者数は9万4528人(男4万5148人、女4万9380人)。投票総数は4万2989票で、有効4万2605票、無効384票だった。

月額
¥1,980



愛媛新聞 ONLINE 有料ニュースサービス

デジタル プラン

「きょうの愛媛」はデジタルで

記事をリアルタイム配信

独自コンテンツが充実 ● スポーツ速報 ● 受験情報 ● 子育て応援

アプリ全面リニューアル

愛媛新聞社デジタル報道部

E-mail: media.info@ehime-np.co.jp TEL: 089 (935) 2253

愛媛新聞社